NIE実践報告

1．タイトル：読む人・聞く人を意識した情報発信者になろう。

2．学校名

高知県立宿毛高等学校

3．実践者名（代表者名）

加藤真実

4．学年

2年生

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語表現Ⅰ　38人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞づくり

7．目標(狙い)

新聞の構成について学んだことをいかして、はがき新聞をつくる。

8．評価の視点

見出し、レイアウトなどを考えて、読む人にわかりやすくなるように工夫する。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

3時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1時間目　はがき新聞に書く内容を考える。身の回りのできごとを取り上げて、まとめる。小さくてもいいので、Newsにふさわしく新しいことを取り上げる。

2時間目　前時に決めた内容に合わせて、見出しを決めて、リード文・記事を書く。読む人に見やすいように、見出しの位置・段数・表や図の位置を考えながらレイアウトを決める。

3時間目(本時)　プリントで考えたレイアウトをいかして下書き、清書する。カラーペン・色鉛筆も使う。

留意点・・・事前に、新聞の構成について、高知新聞社小笠原雄次氏から講義を受けた。
新聞を切り抜き、ワークシートにまとめる授業を月1回(計４回)実施した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・新聞の内容を決めるのに苦労した。
・できあがった作品を見るのは楽しかった。
・紙面が小さいので、少ししか書けなかった。

12．成果と課題

・新聞に触れる機会が多くなり、普段の生活でも新聞記事が話題になるようになった。情報を得る側から発信する側に立場を変えることで、自分の作品を見る人がいると意識するようになった。
・取り上げるテーマを限定しない方がよかった。自分に関することは書きたくない生徒もいるので、お勧めの映画や本なども内容に入れるようにした。